

辰巳

東武健康ハイキング  
開運長寿 寄居十二支守り本尊まいり

グで行こう！



こんにちは、あすまで。今月は東武健康ハイキング「寄居十二支守り本尊まいりハイキング」に、父と一緒に参加してきました。ここは「正龍寺」という曹洞宗のお寺。今年と来年の干支である辰と巳の守り本尊・普賢菩薩さままつっています。鉢形城主・北条氏邦夫妻の墓や、「結城の楓」という名木もありました。(MAPの㊤)

今回の登場人物



業平鉄男  
あすまの父親。食品会社に勤める。歴史とジャズとこよなく愛するサラリーマン。



業平あすま  
業平家の長女。母親が経営する英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



東上線で池袋から急行で小川町へ。そこで普通電車に乗り換えて5駅目。終点の「寄居駅」には約1時間半で到着。秩父鉄道秩父本線、JR八高線との接続駅にもなっています。

寄居 (よりの)

今月は「東武健康ハイキング」とのコラボ企画をお届けします。12月8日(土)に開催を予定している「寄居十二支守り本尊まいりハイキング」のコースや見どころをご紹介。事前にコースの予習ができますよ。ハイキング当日にも、集合場所にて本誌をご参加の皆様にお配りします。もちろん、今回のハイキングに参加されなくても、好きな時に散策いただける「長閑」で見どころたくさん「コース」です。



30分近く歩いて最初に着いたのは、丑寅の守り本尊・虚空蔵菩薩をまつる「天正寺」です。曹洞宗のお寺で、1月13日の初縁日にはダルマ市も開かれるそうです。また、3月13日には大縁日が催され、たいはん賑わうそうです。(MAPの㉔)



ハイキングの受付場所は寄居駅北口です。予約不要で当日の10時から11時の間に受付、順次スタートというのも気楽でいいですね。私たちもハイカーたちと一緒にスタートしました。



ここは私の干支、卯の守り本尊・文殊菩薩をまつる「少林寺」です。五百羅漢や千体荒神の石碑で有名な曹洞宗のお寺です。少林寺から標高247mの羅漢山山頂に続く道沿いに、愉快な表情の羅漢さんが並んでいました。(MAPの㉕)



正龍寺まで25分、さらに20分ほど歩いて到着したのが、子の守り本尊・千手観音菩薩をまつる浄土宗のお寺、「善導寺(藤田善導寺)」です。町指定文化財の木造釈迦如来坐像と、百人一首画格天井でも有名です。(MAPの㉖)

題の「花精活性茶」も販売しています。

コース上に「寄居農産物直売所」を発見。地元  
の新鮮な野菜や果物のほか、寄居町で栽培された  
エキナセアを独自製法でハーブティーにした、話  
題の「花精活性茶」も販売しています。

ここから長閑な小径を辿って進んでいきますが、  
地元の人たちの迷惑にならないよう、広がって歩  
かずに左側通行で歩くことがマナー。また東武健  
康ハイキングでは、所要場所に係員が立って誘導  
してくれるので安心です。

では、東武健康ハイキングに出発です！

スタート地点は、寄居駅北口。ここで10〜11時  
の間に受付を済ませてコース地図をもらいます。  
向かうは、戦国時代に鉢形城の見張り山だった鐘  
撞堂山の麓。この山裾に沿って4つの寺院が並ん  
でいます。まずは天正寺。この本尊は虚空蔵菩  
薩で、丑年・寅年の人を守護しています。

「寄居十二支守り本尊まわり」は、全国でも珍し  
いハイキングコース。子・丑・寅……と続く十二  
支(干支)にはそれぞれを守護する仏が定まって  
おり、自分の干支の守り本尊をお参りする、開  
運厄除、諸願成就などのご利益があるといわれて  
います。寄居の十二支守り本尊は8つの寺院。全  
行程は約10キロ。自分のペースで行きましょう。

のどか  
長閑な山裾に点在する  
古刹を巡る

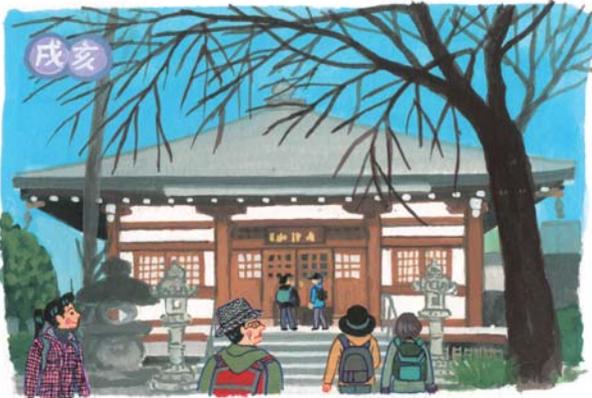
寄居駅は、東武健康ハイキングが始まった昭和  
57年の第一回開催地に選ばれています。いわば、「東  
武健康ハイキング発祥の地」。秩父の山々から水を  
集めて下ってきた荒川の谷口に位置する寄居は景  
勝地も多く、また「人が寄る町」として長い歴史  
をもつ旧跡も点在しています。



ここは西の守り本尊・不動明王をまつる浄土宗のお寺、「浄心寺」です。父は酉年生まれなので「すが、このお寺だけは無住のため、干支の朱印は「善導寺」でもらうことになっています。酉年の方はご注意くださいね。(MAPの㉔)



少林寺の次は、このコースでいちばん間隔が開いたところ。秩父鉄道と八高線の線路を越え、右に玉淀河原の景色も眺めながら「放光院」へ。午の守り本尊・勢至菩薩をまつる浄土宗のお寺。このあたりはもう住宅街です。(MAPの㉕)



最後は戌亥の守り本尊・阿彌陀如来をまつる「西念寺」という浄土宗のお寺。ここで解散です。寄居駅までは徒歩5分。南口駅前には「観光案内所」があり、エキナセアという寄居町特産のハーブを使ったお茶を買いました。(MAPの㉖)



未申の守り本尊・大日如来をまつる、「正樹院」という浄土宗のお寺です。浄心寺からはわずか5分の道のりです。寄居駅隣の玉淀駅からも3分の場所にあります。さあ、約10KMに及ぶハイキングも、残すはあと1箇所です。(MAPの㉗)

ハイキングのゴールは西念寺です。最寄り駅は玉淀ですが、寄居駅南口へも歩いて5分ほど。駅前には観光案内所があり、地元の野菜や特産品を販売しているので、お土産に買っていくのもおすすめです。皆さん、お疲れさまでした。

川を右手に見て進んで行くと、やがて玉淀河原が見えてきます。名前の通り、玉のように美しい水の淀み。荒川の流れが造形した奇岩と水の煌めきが織りなす景勝地で、お食事ポイントに最適。残るは放光院(午)、浄心寺、正樹院(未・申)、西念寺(戌・亥)。この4寺院は市街地に密集しています。昭和の香りが残る寄居の街を歩くのも、また楽しい。

ここでコースは、山裾を離れ、市街地に向かいます。その途中には、寄居の鎮守・宗像神社があります。氾濫した荒川の鎮静と舟運の安全を祈ったといわれます。

次は少林寺(卯)。本堂裏手の山道には、表情豊かな五百羅漢がすらりと並んでいます。さらに山道を登れば羅漢山の山頂まで行けますが、足場が悪いので、くれぐれもご注意ください。

また、同寺本堂の格天井に描かれた狩野派の絵師による百人一首の絵と歌は、一見の価値あり。

仁王像が睨みを利かせる山門の正龍寺(辰・巳)から、善導寺(藤田善導寺/子)へと歩を進めていきます。十二支守り本尊まいりでは、自分の干支の御朱印をそれぞれの寺院でいただけます(各寺300円)が、後に巡る浄心寺(酉)は無住なので、西の御朱印はこの善導寺でいただきます。

玉淀の景勝で  
ハイキングの疲れを癒す

